



鳥取県西部で活動  
男性保育士バンド

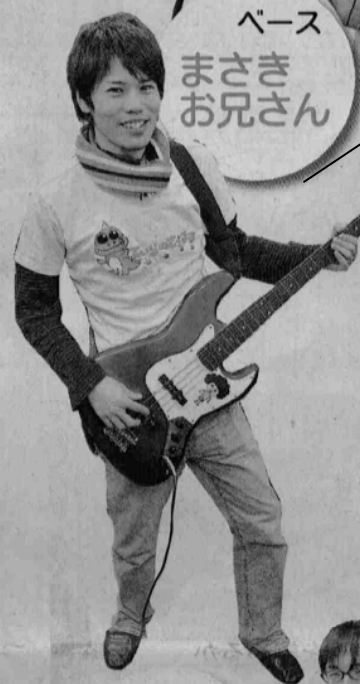


みんなの  
あそび歌

ボーカル  
たいち  
お兄さん



ベース  
まさき  
お兄さん



ギター  
たっちゃん



ドラム  
おっくん



米子市を中心に県西部で活動する男性保育士のバンド「ていらのさうす」。メンバーは、ボーカルのたいちお兄さん(河本太一さん、29歳)、ギターのたっちゃん(辰島邦人さん、29歳)、ベースのまさきお兄さん(安田匡材さん、26歳)、ドラムのおっくん(奥田正裕さん、30歳)の4人。月1回のペースで保育所や幼稚園でのコンサート、イベント出演など、オリジナルのあそび歌で子どもたちの心と体をほかほかにしている。

4人は鳥取県立保育専門学院の同級生で、在学中に「就職したら米子を拠点にバンドをやろう」と約束。卒業後、全員が県西部に就職して2005年にバンドを結成した。

4人ともバンドも楽器も初めて。担当楽器の猛練習から始まったが、今ではオリジナル曲を制作するまでになった。「ていらのさうす」、「ていらのさうす・あしあと2歩目」の2枚のCDを制作。

曲のテーマや歌詞は、保育士として子どもたちと触れ合う中で、子どもたちのつぶやきをヒントに作っている。歌いやすく、すぐに覚えられる曲は、コンサートでも人気で、子どもたちと一緒に口ずさんだり、踊ったり。あそび歌「ふれあいなかまじゅう」は地元企業のテレビCMに起用された。

去年は、あそび歌の日本一を決める「A1あそびうたグランプリ2010」で、全国から応募があった94組の楽譜審査から、ステージ演奏できる20組に選ばれた。前回は、楽譜審査で落選だっただけに念願の出場。決勝は逃したが、東京で最高のパフォーマンスを披露した。

全国大会で「あそびうた」という目標が一緒の仲間たちと出会い、刺激を受けたメンバーたち。3枚目のCD制作に向けた曲作りやレコーディングに力を入れている。

たいちお兄さんは「歌で子どもたちに元気と勇気を与えたい」、たっちゃんは「僕たちの楽しい雰囲気が伝わるといいな」と話す。おっくんは「みんなの保育園に行った時は一緒に遊んでね」とにっこり。まさきお兄さんも「みんなの笑顔が大好き、一緒に遊ぼう」と子どもたちとの出会いを楽しみにしている。

13日に、鳥取市扇町の県民ふれあい会館で開かれる「バレンタインキッズコンサート」に出演予定。



○…「子育て王国」鳥取県は、「あそび歌王国」でもある。今回取材した「ていらのさうす」が出場した「A1あそびうたグランプリ2010」でステージ演奏した20組には、県内から「ロケットくれよん」「でこぼこ」も選ばれた。同一県内で3組出場は

全国最多。  
子どもたちのつぶやきをヒントに作った曲は子どもたちだけでなく、自然と大人も笑顔にする。子育て中の人も、子育てが一段落した人も県内で活動する子ども向けバンドの演奏を楽しんでほしい。  
(西部本社・天満浩子)

キッズタウン 24 かみごとう  
河本太一(写真上)  
安田匡材(写真下)  
社内報 No.37 関連記事掲載